

送辞

暖かな日の光を受け、校庭の木々の新芽もふくらみはじめました。

この佳き日、旭丘中学校を巣立っていかれる卒業生の皆様に、在校生を代表してお祝いの言葉を送ります。

先輩方にお会いしたのは二年前のことです。入学したばかりで不安な気持ちでいっぱいだった私たちを、素晴らしい歌や出し物で歓迎してくださった「新入生を迎える会」。不安も吹き飛び、これから始まる中学校生活に希望を抱くことができました。

これまでの日々を思い返してみると、委員会や部活動などのすべてのことにおいて、先輩は私たちの良きお手本であり目標でした。その中でも心に残っているのは、学校祭です。体育祭では三年生の強い絆を感じる事ができました。三年生の学年種目ではクラスメイトと共に声をかけあいながら全力で競技に取り組み、三年生のクラスの団結力を感じる事ができました。また三年生が中心になり学年の壁を超えて応援を盛り上げてくれました。最終種目の「色別対抗リレー」は圧巻でした。激しいぶつかり合いの中、全力で走る三年生に見入ってしまいました。

合唱コンクールでは、三年生の学年合唱「時を越えて」の美しく迫力のある歌声にはコンサートホール全体が魅了されました。「僕たちも三年生になったらあんなふうに歌えるようになりたい」と、先輩に対す

る憧れの気持ちがさらに増しました。また、舞台・展示の部での三年生の発表は、沖縄地上戦の当時を見ているようなインパクトのある演技で、見ていた私たちを惹きつけました。

学校行事だけではなく、委員会では私たちが意見を思いつかずにはなくて困っていた時、先輩たちが自ら意見を言われている姿に心を打たれ、学校をよくするために考え行動する先輩はとてまかつこいと思いました。

また、部活動の時間は私たちにとって有意義な時間でした。入部したばかりで何もわからない私たちに先輩はたくさんのことを教えてくださり、時には厳しく時には優しく私たちを指導し、温かく見守ってくださいました。先輩方の一つ一つの練習やプレー、作品にかける熱い思いに、私たちはいつも圧倒されていました。私たちには及ばない技術や向上心をもって努力する姿は、私たちの大きな目標となりました。先輩が私たちを応援してくださったからこそ、今の私たちがいると思います。

このような先輩との思い出すべてが私たちにとってかけがえのない宝物です。先輩が築き上げてきた、みんなが主人公となり輝くことができる旭丘中学校。先輩が卒業される今、この旭丘中学校の伝統を私たちが受けつぎ、さらに発展させ、それを後輩たちに伝えていく番です。そして四月に入学してくる新一年生に、先輩方のようにかっこよ

